

# FBR作成ツールを活用した 糖尿病性腎症重症化予防の取組の可能性

だれでも使える魔法のツール



静岡県富士市役所 保健部健康政策課 健診担当  
塩谷 祐実

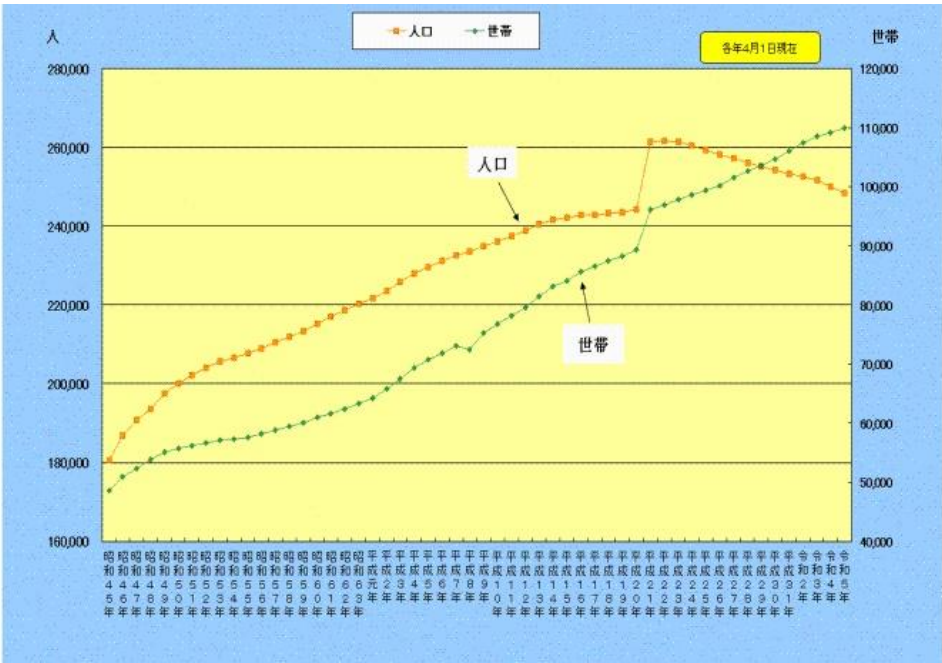


# 富士市の概要

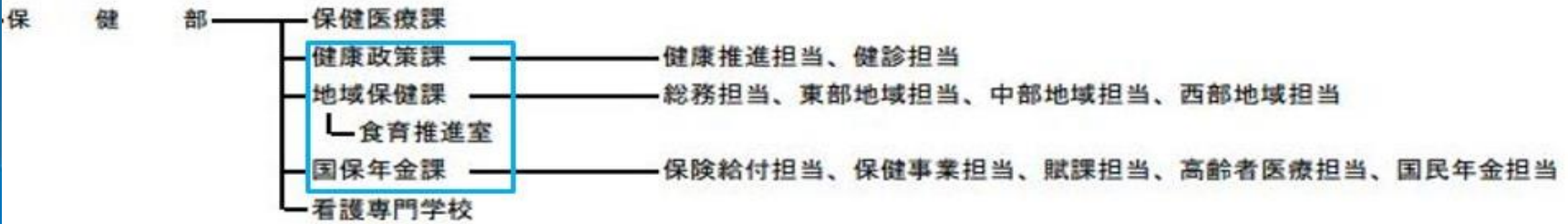
令和5年4月1日現在

人口：248,264人 世帯：109,921世帯

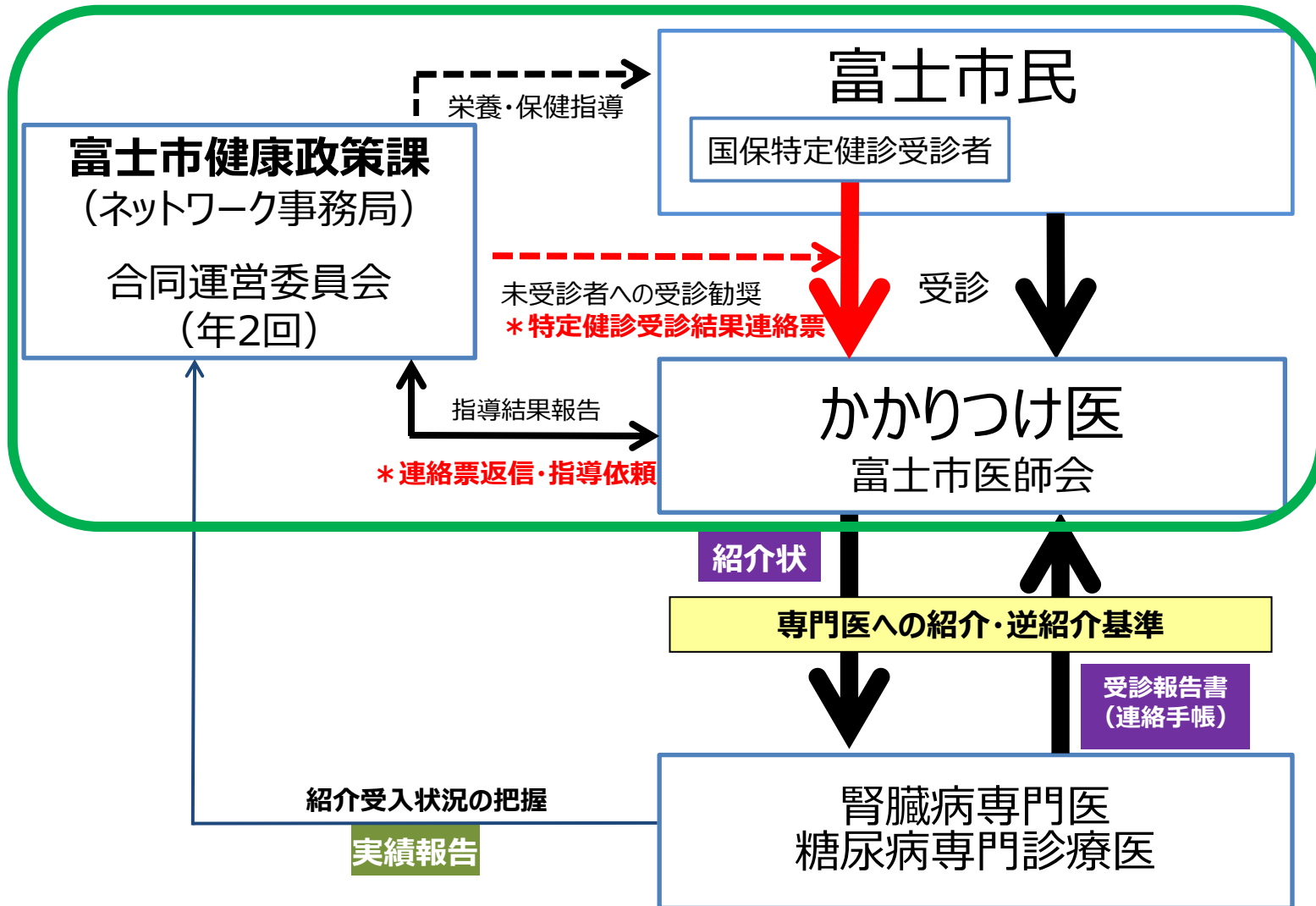
65歳以上人口比率28.7%



国保加入者 47,220人  
 (再掲40歳以上 37,422人)  
 後期高齢者医療 38,061人



# 富士市CKDネットワーク・糖尿病ネットワーク体制図 (H25年度～) (H30年度～)



・ ・ C 富  
 処 検 K 士  
 方 査 D 市  
 薬 値 シ 薬  
 剤 確 ル 剤  
 の 認 ル 師  
 確 及 会  
 認 び 作  
   糖 成  
   尿 病  
   シ ー ル  
   の 活 用

検査・療養指導・栄養指導等

# 富士市糖尿病性腎症等重症化予防事業

衛生部局

健康政策課・地域保健課が「**特定健診受診結果連絡票**」を活用した受診勧奨

## 対象者

**当該年度**特定健診結果より抽出（市の保健情報システム）した以下の対象者に原則**アウトリーチ**でアプローチ

## 未治療の

- ①HbA1c6.5%以上もしくは空腹時血糖値126mg/dl以上
- ②eGFR45ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満もしくは尿蛋白+以上
- ③収縮期血圧160mmHg以上もしくは拡張期血圧100 mmHg以上

（収縮期血圧140mmHg以上159 mmHg以下もしくは拡張期血圧90 mmHg以上100 mmHg以下の対象者には郵送で通知）

## 医療機関

### ①診療

HbA1c6.5%以上もしくは空腹時血糖値126mg/dl以上で尿蛋白±の対象者尿中アルブミン検査の依頼（糖尿病ネットワークからの依頼）

- ②「**特定健診受診結果連絡票**」裏面に受診結果及び生活習慣の改善についてチェックし、対象者に伝えるとともに健康政策課へFAX送付

連絡票の返信により、市が保健指導を行うことについて同意

## 健康政策課・地域保健課

医師の指示に基づき、生活習慣改善の保健指導を実施→医師に報告書3か月後にフォロー

連絡票の返信がない場合等4か月後にレセプト確認後事後フォロー

※裏面のみ FAXで返信  
※連絡票の返信により、市が保健  
指導を行うことについて同意

表面

## 特定健診受診結果連絡票

【富士市→医療機関】

富士市 No 糖-

令和 年 月 日

医療機関

御中

受診者

(ふりがな)

氏 名

生年月日

住 所

<通信欄>

月 日の特定健診で

糖代謝 (HbA1c : 空腹時、随時血糖 : )

血圧 ( ) 腎機能 (eGFR: ) (尿蛋白: )

脂質 ( )

その他 ( )

上記の異常が認められました。健診結果をご高覧いただき、  
ご指導・ご加療をお願いいたします。

富士市 保健部 健康政策課・地域保健課  
電話 64-8992・64-8993

<受診者同意書>

受診結果を医療機関から富士市健康政策課へ報告することに同意します。

令和 年 月 日

署名

裏面

FAX : 0545-64-7172

## 特定健診受診結果連絡票

【医療機関→富士市】

富士市 No 糖-

令和 年 月 日

富士市健康政策課 健診担当 行

■ 受診結果を連絡します。

受診日	令和 年 月 日
受診結果	<input type="checkbox"/> 要治療 ( 当院で治療 ・ 他院 ( ) へ紹介 )
	<input type="checkbox"/> 経過観察 ( 月後 )
	<input type="checkbox"/> 異常なし
尿中アルブミン検査	<input type="checkbox"/> 実施 ( 結果 mg/g・Cre ) <input type="checkbox"/> 未実施

■ 生活習慣の改善について、保健師・管理栄養士から  
話してほしい項目の□にチェックし、指示事項等がある場合は  
記載してください。(患者様には市から連絡があることをお伝えください)

<input type="checkbox"/> 食事のチェック	指示事項
<input type="checkbox"/> 運動のすすめ	注意事項
その他注意事項等	

医療機関名

# R4年度実績 重症化予防事業実績

	対象者 (人)	受診勧奨方法 内訳 (人)					受診勧奨 実施率 (%)	※受診勧奨後レセプト確認結果		
		当日	訪問	来所	電話	手紙		対象者数	受診者数	受診率(%)
糖尿病	100	2	15	11	65	7	100	100	46	46.0
CKD	201	0	23	24	142	12	100	201	93	46.5
高血圧	186	21	28	8	112	17	100	186	64	34.4
計	487	23	66	43	319	36	100	487	203	41.8

	糖尿病	CKD	高血圧	合計	割合(%)	備考
保健指導実施	29	64	43	136	99.3	対指導依頼数

# 課題

## ①事業に携わる専門職の課題

- ・被保険者の全体像が理解できていない
- ・疾患ごとのリスト作成→包括的な視点が持ちにくい

## ②医療機関との課題

- ・重症化予防事業への理解  
誰に何をやってくれるの？  
医療機関の役割は何？
- ・活用する事へのメリット  
結果どうなったの？



# 課題

## ① 事業に携わる専門職の課題

- ・被保険者の全体像が理解できていない
- ・疾患ごとのリスト作成→包括的な視点が持ちにくい

## ② 医療機関との課題

- ・重症化予防事業への理解  
誰に何をやってくれるの？  
医療機関の役割は何？
- ・活用する事へのメリット  
結果どうなったの？

# 1. 健診受診者のうちの、糖尿病・高血圧・腎機能低下者の数、有所見率（年次推移）

対象者数、有所見率

対象者数 単位：人	式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
健診受診者数		14,032	13,510	11,215	11,891	11,400
HbA1c測定者数	(a1)	13,923	13,416	11,150	11,840	11,356
糖尿病あり <sup>※1</sup> の人数	(a2)	2,967	2,862	2,330	2,434	2,273
血圧測定者数 <sup>※2</sup>	(b1)	14,031	13,506	11,215	11,890	11,399
高血圧症あり <sup>※3</sup> の人数	(b2)	7,548	7,148	6,188	6,510	6,212
尿蛋白測定者数	(c1)	14,010	13,484	11,188	11,870	11,376
尿蛋白(+) <sup>以上</sup> の人数	(c2)	721	654	539	559	595
eGFR測定者数	(d1)	13,931	13,381	11,080	11,810	11,328
eGFR<60の人数	(d2) = d3+d4+d5	2,467	2,605	2,123	2,387	2,458
eGFR<30の人数	(d3)	32	39	34	24	33
30≦eGFR<45の人数	(d4)	256	250	202	243	254
45≦eGFR<60の人数	(d5)	2,179	2,316	1,887	2,120	2,171
eGFR及び尿蛋白測定者数 <sup>※4</sup>	(e1)	14,017	13,495	11,193	11,875	11,385
eGFR<60または尿蛋白(+) <sup>以上</sup> の人数	(e2)	2,934	3,023	2,472	2,750	2,839
有所見率	式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
糖尿病あり <sup>※1</sup> の割合	(a2÷a1)	21.3%	21.3%	20.9%	20.6%	20.0%
高血圧症あり <sup>※3</sup> の割合	(b2÷b1)	53.8%	52.9%	55.2%	54.8%	54.5%
尿蛋白(+) <sup>以上</sup> の割合	(c2÷c1)	5.1%	4.9%	4.8%	4.7%	5.2%
eGFR<60の割合	(d2÷d1)	17.7%	19.5%	19.2%	20.2%	21.7%
eGFR<30の割合	(d3÷d1)	0.2%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
30≦eGFR<45の割合	(d4÷d1)	1.8%	1.9%	1.8%	2.1%	2.2%
45≦eGFR<60の割合	(d5÷d1)	15.6%	17.3%	17.0%	18.0%	19.2%
eGFR<60または尿蛋白(+) <sup>以上</sup> の割合	(e2÷e1)	20.9%	22.4%	22.1%	23.2%	24.9%

※1 糖尿病あり：HbA1c測定者のうちHbA1c測定結果が6.5%以上、もしくは該当年度に2型糖尿病の受診実績のある者。

※2 血圧測定者数：収縮期血圧、拡張期血圧の両方、もしくはいずれかの測定値がある者のうち、片方の血圧測定値で有所見判定が可能なる者。

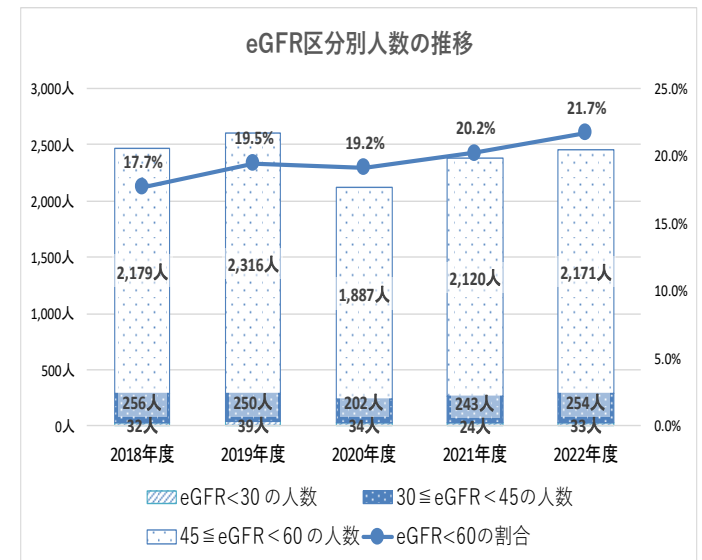
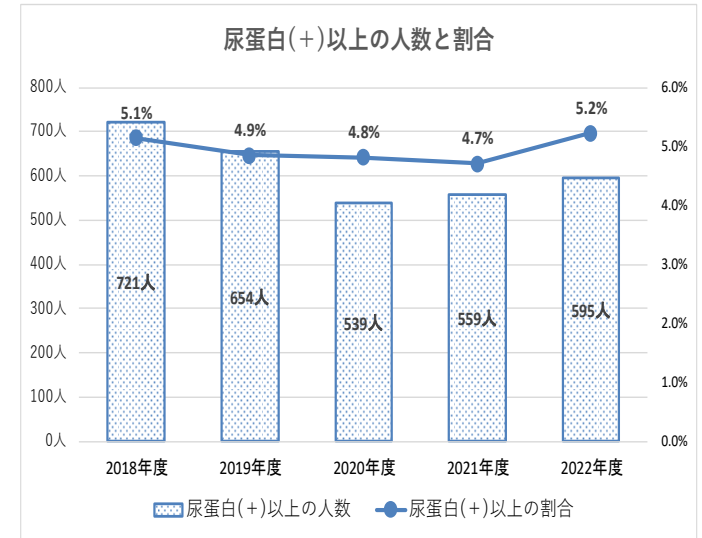
※3 高血圧症あり：血圧測定者のうち140mmHg≦収縮期血圧または90mmHg≦拡張期血圧に該当、もしくは該当年度に高血圧症の受診実績のある者。

※4 eGFR及び尿蛋白測定者数：尿蛋白、eGFRの両方、もしくはいずれかの測定値がある者の人数。

eGFRの測定値が無い場合でも、eGFRの結果を暫定的に「異常なし」と分類し、尿蛋白のみで判定するため人数に含む。

尿蛋白の測定値が無い場合でも、eGFRの測定のみで、腎機能低下が判定可能な場合は人数に含む。

データ入力が無い年度は、各対象者数、所見率は(-)ハイフンで出力。



# 概要の把握

## (KDBの抽出により従来から出しているもの)

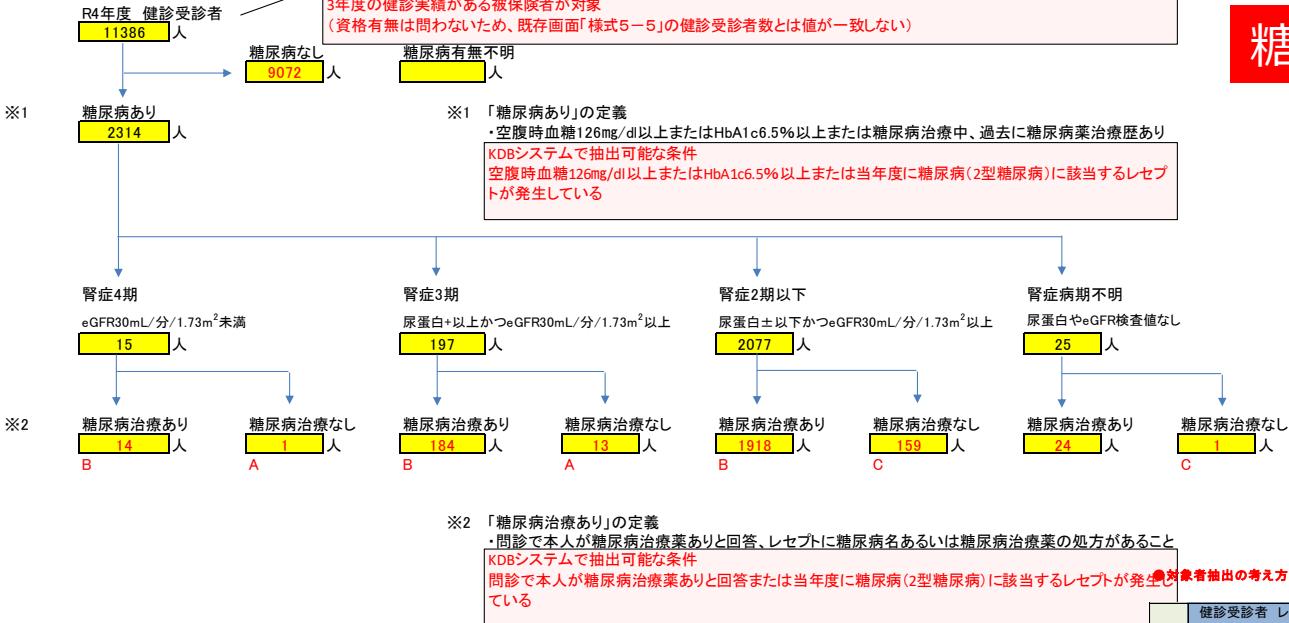
・研究班から求められている本様式の各項目について、丸数字(①~⑩)毎に作業を行い、値を出力する。  
 (以下丸数字は、「03\_フィルタ詳細設定条件.xlsx」の丸数字と対応している。赤字で記載している内容は、KDBで抽出可能な範囲(制約)を記載している。)

### 1. 糖尿病性腎症対象者の概数把握 (フローチャート)

自治体名: \_\_\_\_\_ 富士市

#### ● 健診受診者からの把握(A・B・C)

KDBシステムで抽出可能な条件  
 3年度の健診実績がある被保険者が対象  
 (資格有無は問わないため、既存画面「様式5-5」の健診受診者数とは値が一致しない)



糖尿病とCKDの状況のみ

#### ● 健診未受診、レセプトデータからの把握(D・E)

R3年度の健診未受診者のうち、レセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの  
 D 5960人  
 KDBシステムで抽出可能な条件  
 R3年度の健診未受診者のうち、当年度に糖尿病(2型糖尿病)に該当するレセプトまたは糖尿病性腎症(1型・2型糖尿病腎症)が発生している

R3年度の健診未受診者のうち、過去のレセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名がある治療中断者  
 E 329人  
 KDBシステムで抽出可能な条件  
 R3年度の健診未受診者のうち、糖尿病治療中断者(※)  
 ※治療中断の判定条件は以下のとおり  
 前年度に糖尿病(2型糖尿病)と判定されたレセプトが存在する かつ  
 当年度に糖尿病(2型糖尿病)と判定されたレセプトが存在しない

レセプトなし	健診受診者 レセプトなし	健診未受診者 レセプトなし (検査情報なし)
	C 糖尿病基準該当 + 受診なし 160人	E 過去に糖尿病治療歴あり 現在治療中断 329人
レセプトあり	A 糖尿病性腎症 + 受診なし 14人	D 糖尿病治療中 尿アルブミン、尿蛋白、eGFR 有所見かつ医師の推薦あり 5960人
	B 糖尿病性腎症 + 受診あり 2116人	
	健診受診者 レセプトあり	健診未受診者 レセプトあり (検査情報なし)
	健診受診	健診未受診

● 今回の糖尿病性腎症事業対象者として、介入を予定している対象者

A~E: \_\_\_\_\_

## 2. 糖尿病・高血圧の受診状況・検査値分類、腎機能の分類（2022年度）

FBR  
(表2)

糖尿病未受診者（人）※1

		腎機能												腎機能 判定不可 ※3	総計
		eGFR<45または尿蛋白(+)以上				45≤eGFR<60または尿蛋白(±)				60≤eGFRかつ尿蛋白(-)					
		血圧区分※2													
		受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計		
H b A 1 c (%)	8.0以上	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	4	11	0	12
		-	-	-	-	0.0%	0.0%	100.0%	-	9.1%	54.5%	36.4%	-	-	0.1%
	7.0~7.9	2	1	1	4	3	6	5	14	5	5	12	22	0	40
		50.0%	25.0%	25.0%	-	21.4%	42.9%	35.7%	-	22.7%	22.7%	54.5%	-	-	0.4%
	6.5~6.9	3	1	2	6	16	8	13	37	24	14	18	56	0	99
	50.0%	16.7%	33.3%	-	43.2%	21.6%	35.1%	-	42.9%	25.0%	32.1%	-	-	1.1%	
	6.5未満	330	50	176	556	978	275	1,032	2,285	2,087	779	3,374	6,240	10	9,091
		59.4%	9.0%	31.7%	-	42.8%	12.0%	45.2%	-	33.4%	12.5%	54.1%	-	-	98.4%
	合計	335	52	179	566	997	289	1,051	2,337	2,117	804	3,408	6,329	10	9,242

未治療の  
HbA1c8.0%以上

糖尿病受診中の者（人）※1

		腎機能												腎機能 血圧区分 判定不可 ※3	総計
		eGFR<45または尿蛋白(+)以上				45≤eGFR<60または尿蛋白(±)				60≤eGFRかつ尿蛋白(-)					
		血圧区分※2													
		受診中	血圧高値 受診なし	血圧 正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	血圧 正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	血圧 正常範囲	合計		
H b A 1 c (%)	8.0以上	18	0	0	18	7	0	4	11	40	3	15	58	0	87
		100.0%	0.0%	0.0%	-	63.6%	0.0%	36.4%	-	69.0%	5.2%	25.9%	-	-	4.1%
	7.0~7.9	38	0	4	42	52	5	23	80	101	6	61	168	1	291
		90.5%	0.0%	9.5%	-	65.0%	6.3%	28.8%	-	60.1%	3.6%	36.3%	-	-	13.8%
	6.5~6.9	39	2	6	47	72	5	20	97	143	17	67	227	1	372
	83.0%	4.3%	12.8%	-	74.2%	5.2%	20.6%	-	63.0%	7.5%	29.5%	-	-	17.6%	
	6.5未満	124	2	19	145	292	19	83	394	543	60	219	822	3	1,364
		85.5%	1.4%	13.1%	-	74.1%	4.8%	21.1%	-	66.1%	7.3%	26.6%	-	-	64.5%
	合計	219	4	29	252	423	29	130	582	827	86	362	1,275	5	2,114

※1 糖尿病受診中の者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績がある者。糖尿病未受診者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績が無い者。

※2 血圧区分の「受診中」：出力対象年度に高血圧症の受診実績がある者。「血圧高値受診なし」：140mmHg≤収縮期血圧または90mmHg≤拡張期血圧に該当し、出力対象年度に高血圧症の受診実績が無い者。

「血圧高値」判定は、収縮期血圧または拡張期血圧のいずれかの測定値のみでも、有所見判定(140mmHg≤収縮期血圧または90mmHg≤拡張期血圧)が可能な者も含む。

※3 腎機能 血圧区分判定不可：HbA1c測定者のうち、尿蛋白、血圧の測定値が無く、腎機能、血圧区分のいずれかの判定ができない者。eGFRの測定値が無い場合は暫定的に「異常なし」と分類。

### 3. 糖尿病性腎症重症化予防事業 対象と方法の例示（2022年度）

FBR  
(表3)

糖尿病未受診者（人）※1

		腎機能												腎機能 血圧区分 判定不可 ※3	総計
		eGFR<45または尿蛋白(+)以上				45≦eGFR<60または尿蛋白(±)				60≦eGFRかつ尿蛋白(-)					
		血圧区分※2													
	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計			
H b A 1 c ( %)	8.0以上	0	0	0	0	0	1	1	1	6	4	11	0	12	
	7.0~7.9	2	1	1	4	3	6	5	14	5	5	12	0	40	
	6.5~6.9	3	1	2	6	16	8	13	37	24	14	18	0	99	
	6.5未満	330	50	176	556	978	275	1,032	2,285	2,087	779	3,374	10	9,091	
	合計	335	52	179	566	997	289	1,051	2,337	2,117	804	3,408	10	9,242	

点線青枠：健診・レセプト情報から糖尿病と判断できないため、糖尿病性腎症重症化予防事業の対象外。（CKD対策、高血圧対策としての受診勧奨・保健指導等は必要に応じて行う）

糖尿病受診中の者（人）※1

		腎機能												腎機能 血圧区分 判定不可 ※3	総計
		eGFR<45または尿蛋白(+)以上				45≦eGFR<60または尿蛋白(±)				60≦eGFRかつ尿蛋白(-)					
		血圧区分※2													
	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	合計			
H b A 1 c ( %)	8.0以上	18	0	0	18	7	0	4	11	40	3	15	58	0	87
	7.0~7.9	38	0	4	42	52	5	23	80	101	6	61	168	1	291
	6.5~6.9	39	2	6	47	72	5	20	97	143	17	67	227	1	372
	6.5未満	124	2	19	145	292	19	83	394	543	60	219	822	3	1,364
	合計	219	4	29	252	423	29	130	582	827	86	362	1,275	5	2,114

糖尿病受診中の場合にはHbA1c<6.5%も糖尿病性腎症重症化予防事業の対象。糖尿病受診中で主治医があるため、高血圧未受診でも受診勧奨ではなく保健指導とする。

保健指導Ⅰ	1,711人	受診勧奨Ⅰ	57人	CKD対策	2,841人
保健指導Ⅱ	426人	受診勧奨Ⅱ	26人	高血圧受診勧奨	1,104人
保健指導Ⅲ	31人	受診勧奨Ⅲ	14人		

※1 糖尿病受診中の者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績がある者。糖尿病未受診者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績が無い者。

※2 血圧区分の「受診中」：出力対象年度に高血圧症の受診実績がある者。「血圧高値受診なし」：140mmHg≦収縮期血圧または90mmHg≦拡張期血圧に「血圧高値」判定は、収縮期血圧または拡張期血圧のいずれかの測定値のみでも、有所見判定(140mmHg≦収縮期血圧または90mmHg≦拡張期血圧)が可能

※3 腎機能 血圧区分判定不可：HbA1c測定者のうち、尿蛋白、血圧の測定値が無く、腎機能、血圧区分のいずれかの判定ができない者。eGFRの測定値が無

事業のボリュームが一目でわかる表  
取り組むべき対象者の検討に活用  
→リストの作成も可

# 課題

## ① 事業に携わる専門職の課題

- ・被保険者の全体像が理解できていない
- ・疾患ごとのリスト作成→包括的な視点が持ちにくい

## ② 医療機関との課題

- ・重症化予防事業への理解  
医療機関の役割は何？
- ・活用する事へのメリット  
結果どうなったの？

# 医師会への 実績説明

令和元年度事業対象



令和3年度の健診結果

## 血圧

		R3 血圧						
		正常血圧	正常 高値血圧	高値血圧	I度 高血圧	II度 高血圧	III度 高血圧	
		120/80 未満	120~129/ 80未満	130~139/ 80~89	140~159/ 90~99	160~179/ 100~109	180/110 以上	
R2 血 圧	正常血圧	120/80未満	0	0	0	0	0	0
	正常高値血圧	120~129/ 80未満	0	0	0	0	0	0
	高値血圧	130~139/ 80~89	0	0	0	0	0	0
	I度高血圧	140~159/ 90~99	0	0	0	0	0	0
	II度高血圧	160~179/ 100~109	18	23	27	32	13	5
	III度高血圧	180/110以上	3	5	7	10	5	3

## 血圧の変化

	人	%
改善	130	86.1%
不変	16	10.6%
悪化	5	3.3%
151		

## 血糖値

		R3 HbA1c			
		6.5未満	6.5以上 7未満	7以上 8未満	8以上
R1 Hb A1c	6.5未満	0	0	0	0
	6.5以上 7未満	45	2	2	1
	7以上 8未満	14	2	1	1
	8以上	14	2	0	1

## HbA1c変化

	人	%
改善	77	90.6%
不変	4	4.7%
悪化	4	4.7%
85		

## 糖尿病性腎症

		R3 DM性腎症病期		
		2期以下	3期	4期
R2 DM 性腎 症病 期	2期以下 (eGFR30以上尿蛋白-、±)	74	5	0
	3期 (eGFR30以上尿蛋白+以上)	10	1	0
	4期 (eGFR30未満尿蛋白問わない)	1	0	0

## DM性腎症病期変化

	人	%
改善	11	12.1%
不変	75	82.4%
悪化	5	5.5%
91		

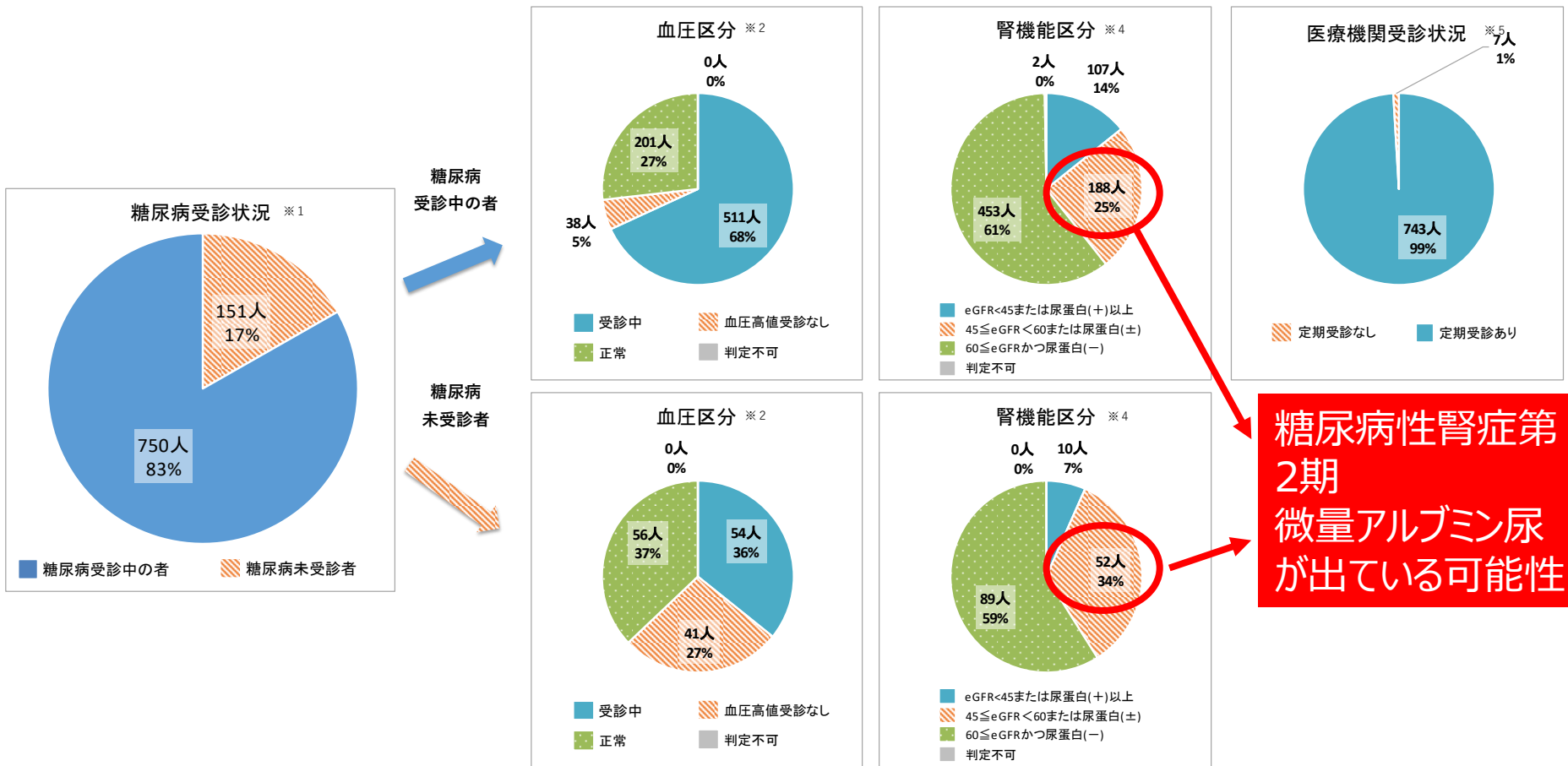
## CKD

		R3 CKD 重症度分類			
		①	②	③	④
R2 C K D	① eGFR60以上 尿蛋白-	0	0	0	0
	② eGFR45~59尿蛋白- または60以上尿蛋白±	0	0	0	0
	③ eGFR30~44尿蛋白- または45~59尿蛋白± または60以上尿蛋白+以上	59	18	15	3
	④ eGFR30未満 または45未満尿蛋白± または60未満尿蛋白+以上	8	4	1	1

## CKD変化

	人	%
改善	90	82.6%
不変	16	14.7%
悪化	3	2.8%
109		

4. HbA1c6.5%以上の者における、糖尿病受診状況、高血圧・腎機能の状況、定期受診状況（2022年度）



※1 糖尿病受診中の者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績がある者。糖尿病未受診者：出力対象年度に2型糖尿病の受診実績が無い者。

※2 血圧区分の「受診中」：出力対象年度に高血圧症の受診実績がある者。「血圧高値受診なし」：140mmHg≦収縮期血圧または90mmHg≦拡張期血圧に該当し、出力対象年度に高血圧症の受診実績が無い者。

「血圧高値」判定は、収縮期血圧または拡張期血圧のいずれかの測定値のみでも、有所見判定(140mmHg≦収縮期血圧または90mmHg≦拡張期血圧)が可能なる者も含む。

「判定不可」：収縮期血圧、拡張期血圧の両方、またはどちらかの測定値が無いため「血圧高値」判定ができず、また出力対象年度に高血圧症の受診実績が無い者。

※4 腎機能区分の「判定不可」：判定に必要な尿蛋白の測定値が無い者。eGFRの測定値が無い場合は「異常なし」と暫定的に取り扱い、尿蛋白の測定値のみで判定。

※5 定期受診あり：出力対象年度内に外来医療費が発生した月が3か月以上ある者。定期受診なし：出力対象年度内に外来医療費が発生した月が3か月未満の者。



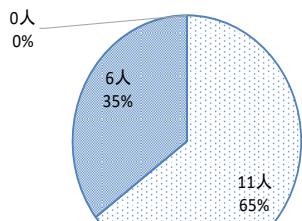
# 5. 重症化予防（受診勧奨）対象者の、2年後の受診等の状況

FBR  
(表5)

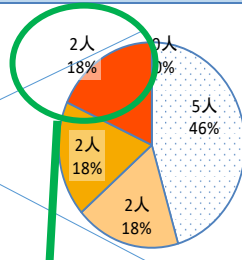
受診勧奨対象年度 2020年度	受診勧奨状況の追跡年度：2022年度	
	健診受診状況	健診受診者の受診勧奨分類状況

受診勧奨Ⅲ

対象者
17人



	国保	後期	合計
健診受診	9人	2人	11人
健診未受診	6人	0人	6人
情報なし <sup>※2</sup>	-	-	0人
合計	15人	2人	17人

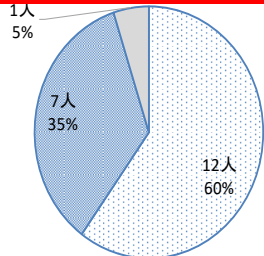


	国保	後期	合計
受診勧奨対象外 <sup>※3</sup>	3人	2人	5人
受診勧奨Ⅰ	2人	0人	2人
受診勧奨Ⅱ	2人	0人	2人
受診勧奨Ⅲ	2人	0人	2人
判定不可 <sup>※4</sup>	0人	0人	0人
合計	9人	2人	11人

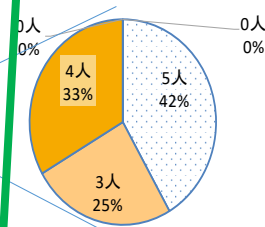
HbA1c8.0%以上orHbA1c6.5%以上  
 血圧高値治療なし、腎機能障害

受診勧奨Ⅱ

対象者
20人



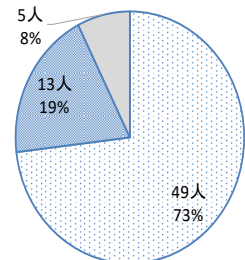
	国保	後期	合計
健診受診	10人	2人	12人
健診未受診	7人	0人	7人
情報なし <sup>※2</sup>	-	-	1人
合計	17人	2人	20人



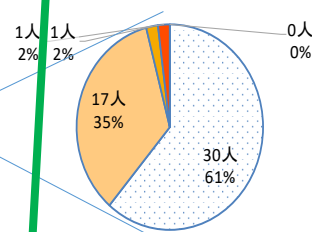
	国保	後期	合計
受診勧奨対象外 <sup>※3</sup>	4人	1人	5人
受診勧奨Ⅰ	2人	1人	3人
受診勧奨Ⅱ	4人	0人	4人
受診勧奨Ⅲ	0人	0人	0人
判定不可 <sup>※4</sup>	0人	0人	0人
合計	10人	2人	12人

受診勧奨Ⅰ

対象者
67人



	国保	後期	合計
健診受診	44人	5人	49人
健診未受診	11人	2人	13人
情報なし <sup>※2</sup>	-	-	5人
合計	55人	7人	67人



	国保	後期	合計
受診勧奨対象外 <sup>※3</sup>	26人	4人	30人
受診勧奨Ⅰ	16人	1人	17人
受診勧奨Ⅱ	1人	0人	1人
受診勧奨Ⅲ	1人	0人	1人
判定不可 <sup>※4</sup>	0人	0人	0人
合計	44人	5人	49人

・2年間変わらずリスクの高い対象者がいる  
 ・健診未受診ではその後の状況が確認できない  
 ・リストの作成も可

※1 受診勧奨状況の追跡年度：画面の「出力対象年度To」で指定の年度。  
 ※2 情報なし：出力対象年度に国保または後期の被保険者資格情報が無く、追跡できない者。  
 ※3 受診勧奨対象外：糖尿病等の受診につながったかまたは、HbA1c等検査値が改善した者。  
 ※4 判定不可：出力対象年度のHbA1cの測定値が無く、受診勧奨分類判定ができない者。該当者の詳細は「対象者リスト」にて詳細情報の確認可能。

# 課題解決のために

## ① 事業に携わる職員の共通認識

全体像を知る→事業の必要性を共有

≠数ある業務のひとつ、でも命を守る事業

## ② 医療機関との連携がカギ

全体像を知る→何が問題で何をするのか

事業活用のメリット（保険者の強みを知ってもらう）

医療機関の役割を明確に伝える

結果の共有（わかりやすいデータの提示）



解決してくれる魔法のツール

FBR作成にかかる時間はたったの30分！

使わない手はない！！